

[成果情報名]カーネーションの有望系統「2001MFB3」の選定

[要約]スペインで交配されたカーネーション系統「2001MFB3」は、黄白の地色に淡紫ピンクの縁の花色で、収穫初期から茎が硬く年間を通し切り花は高品質で安定するすぐれた系統である。

[キーワード]カーネーション、有望系統

[担当]総合農林試験場 作物園芸部 花き科

[代表連絡先]電話 0957-26-3330、電子メール hazeyama@pref.nagasaki.lg.jp

[区分]花き

[分類]指導

[背景・ねらい]

カーネーションは本県花き生産における主要品目の1つである。近年、中国からの輸入激増に伴う国際競争も激化し、日本の栽培農家は経営の危機に瀕している。

そこで、「長崎カーネーション」のブランド化を推進するため、長崎県が優先的に栽培するオリジナル品種の作出に向け、県と企業との共同研究によりスペインで交配された系統の中から、本県に適応する系統を選抜する。

[成果の内容・特徴]

1. 「2001MFB3」は、スプレータイプで花は丸弁、黄白の地色に淡紫ピンクの縁の花色である（図1）。
2. 年内は、「ビダル」より切り花本数は少ないが、茎が硬く、花蕾数が多く、切り花品質が高い（表1）。
3. 年明け以降は5月の切り花終了まで、茎が硬く、切り花長、切り花重も十分で、花蕾数も多く、切り花品質が高い（表1）。
4. 年間をとおした平均切り花品質についても、11月の切り花長が若干短くなるが、収穫初期茎が硬く高品質で安定する（表1）。
5. 切り花本数は、3月に多くなり、年間合計採花本数も多い（表1）。
6. 花持ち日数は主要2品種よりすぐれる（表2）。
7. 花弁数は、主要2品種より多く、花にボリュームがあり、開花終わりに露芯しない（表2、図1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 土耕栽培では秋に草丈が短くなるため、草丈が伸びるベンチ栽培が望ましい。
2. 本系統は、種苗会社より「マシュマロ」の名前で品種登録出願予定である。

表1. 「2001MFB3」の月別切り花品質

系統・ 品種名	採花時期	採花開 始日	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	花蕾数 (輪)	下垂度	1株当たり の採花本数 (本)
2 0 0 1 M F B 3	11月	11/9	52.0	30.0	6.0	1.0	0.4
	12月		62.3	34.7	5.3	1.1	0.9
	1月		74.0	41.7	5.3	1.0	1.1
	2月		80.5	51.5	5.8	1.0	1.2
	3月		70.8	44.8	5.3	1.0	2.1
	4月		73.2	63.4	6.6	1.0	1.6
	5月		88.7	69.7	6.3	1.0	1.0
	平均		73.6	50.4	5.8	1.0	
合計採花本数							8.3
ビ ダ ル	10月	10/19	56.0	22.0	4.3	6.7	0.3
	11月		59.8	26.2	4.4	4.2	1.3
	12月		64.7	33.9	4.7	2.9	0.8
	1月		72.3	44.6	5.0	1.3	1.2
	2月		76.2	53.6	5.2	1.2	1.0
	3月		79.0	71.3	5.7	1.0	0.3
	4月		82.6	95.4	6.7	1.0	2.0
	5月		82.3	96.8	7.8	1.0	0.7
平均		71.6	55.5	5.5	2.4		
合計採花本数							7.7

下垂度：先端から50cmの位置で水平に保持し、下垂した角度。0°=0とし、90°までを9段階に分類した数値
 耕種概要：2005年6月14日に定植。点滴灌水装置で常時施肥を行い、冬季は最低夜温12℃で管理した。調査は10月から開始し、翌年5月9日で終了した。

表2. 「2001MFB3」と主要品種の花弁数と花持ち日数

品種・系統名	花弁数(枚)	花持ち日数(日)
2001MFB3	46.0	18.0
ライトピンクバーバラ	32.5	6.1
ビダル	45.1	7.1

花持ち日数調査：自然日長。
 花持ち調査は、2007年2月21日採花分で、実験室内で行った。日長は自然日長で、平均気温18.9℃平均湿度40.8%、最高気温24.7℃、最高湿度59%、最低気温15.1℃、最低湿度30%。外花弁が水平状態の開花ステージで採花した花を用い、評点3以上の日数の平均値を花持ち日数とした。

鮮度の評点

評点	鮮度評価
5	正常な花
4	花弁先端部にわずかに変色・インローリング（花弁の内側への巻き込み）の見える花
3	インローリングが始まっているが、観賞に耐える花
2	萎ちょう・インローリングの明らかな花
1	萎ちょうの進んだ花
0	枯死



図1. 「2001MFB3」の花形・花色



[その他]

研究課題名：カーネーションの新品種育成

研究期間：2004年～2008年

予算区分：県単

研究担当者：樫山妙子、諸岡淳司